



千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222) 7207 番

93.2.1 No. 3732

集まろう 2月13日

第29回定期委員会



* 第二一九回定期委員会 *

とき 一九九三年二月一二日(土) 一三時より

ところ 千葉市民会館・特別会議室II

今春季闘争総決起体制の確立へ

激動の年が開始された!

一九九三年は、年頭早々より、激動の年として開始された。われわれは、JRの安全無視の政策に対し、踏切安全行動に決起し、会社当局を圧倒して闘い抜いている。また、昨年のPKO自衛隊派兵が開始されて以降、次々に反動的攻撃が打ち出され、憲法改悪まで公然と叫ばれる状況である。そうしたなか、二月一三日開催される第二九回定期委員会は決定的重要である。全組合員がこぞつて結集しよう!

再編が開始された「分割・民営化体制」

九三年は、「分割・民営化体制」の矛盾・危機が一斉に噴出し、その「見直し」も含めた動きが具体化されてくることは、ほぼ間違いない情勢にきている。とくに、一月一〇日に発表された清算事業団と貨物会社に関する「総務庁行政観察結果」は、政府の側からの「分割・民営化政策の見直し不可避論」と言える。

吹き荒れる大合理化攻撃

昨年の動乗勤改悪以降、合理化攻撃は、堰を切ったような状況である。すでに千葉支社一・二名の合理化、貨物関係の三月ダイ改合理化が提案されている。併せて、この六年間にわたって続けられた異常な労務政策を根本的な原因として、列車の運行管理能力や安全のチェック機能が完全に解体してしまっている事態である。

また、清算事業団闘争をめぐる動きも焦点化された。

*「不採用事件を中心として命令作業に重点をおいて検討する」(中労委総会での会長発言) ↓ 「円満解決」などと称しながら、逆に「五・二八解決案」に示されるように自ら、責任を放棄した対応に終始したが、ようやく「命令」に向けて動きだしたと言える。しかし、樂觀などできる状況とはいえず、今こそ、清算事業団闘争の全面的な強化が問われており、年度末―今年前半期が大きな勝負となることが確実である。

憲法改悪攻撃を打ち破ろう!

さらに、PKO派兵状況が、憲

法改悪にまで行き着こうとしている情勢を見据え、反戦闘争の前進を勝ちとつていこう。

以上のようにあらゆる課題が今春に集中しており、否応なく大きな勝負とならざるを得ない情勢にある。

今春闘争に全組合員が総決起を

勝ちとるために二月一三日第二九回定期委員会決定的に重要となっている。本年度委員を先頭に全組合員が総結集しよう。

93年勝利にむけて

共に頑張ろう。

降参 第二次出兵阻止 皇訪沖阻止
自衛隊 北海道 天 沖縄・東京

第二回全国活動者会議を開催
反戦共同行動委員会

93前半期 三大 課題

一、カンボジア侵略粉砕、自衛隊即時撤兵、第二次派兵阻止の反戦・反軍闘争に昨年のたたかいを引き継ぎ全力で立ち上がる。

二、天皇訪沖阻止闘争を、沖縄現地闘争を軸にして、東京・沖縄を貫いてたたかう。

三、今年前半期の集約として六・一三を全国総決起の首都政治決戦としてたたかう。

☆二・一一第一波統一行動を突破口に二・三月総力行動に立ち上がる。